

会 議 録

審議会等名	平成 29 年度 第 2 回三条市文化芸術振興に関する懇談会		
公開の別	全部公開		
開催日時	平成 30 年 2 月 22 日 (木) 午後 7 時から 8 時 25 分		
開催場所	中央公民館 大集会室	傍聴者	無
		報道機関	無
出席者氏名	<p>委 員 丸山正夫会長、花柳雅鶴委員、西村邦明委員、田村和豊委員、椋澤伸治委員、石井正文委員、八幡雅絵委員、金子達雄委員、鶴巻純子委員</p> <p>三条市 金子生涯学習課長、齋藤生涯学習課長補佐、阿部生涯学習推進係長、春日一般任用主事</p> <p>(欠席者) 丸山鉄兵委員</p>		
協議題	<p>(1) 平成 29 年度文化芸術振興事業の実施状況について</p> <p>(2) 平成 30 年度文化芸術振興事業 (案) について</p> <p>(3) 文化振興基金の活用状況について</p>		
生涯学習課長	あいさつ		
自己紹介	委員、事務局自己紹介		
丸山会長	議題 (1) について説明をお願いします。		
阿部係長	(平成 29 年度文化芸術事業の実施状況について説明)		
丸山会長	ただいま事務局から説明があったが、質問、意見をお願いしたい。		
花柳委員	今年初めて芸能まつりにわくわく文化未来塾が出演させていただき子どもたちも喜んでいました。発表の機会があると良いので是非続けていただきたい。		
丸山会長	議題 (2) について説明をお願いします。		
阿部係長	(平成 30 年度文化芸術振興事業 (案) について)		
丸山会長	ただいま事務局から説明があったが、質問、意見をお願いしたい。		
鶴巻委員	若手芸術家支援事業は、今の説明では来年度の対象者は未定ということだが、候補者を今挙げてよいのか。		
金子課長	来年度の候補者については、前回で確認しなければならなかったが、平成 28 年度に話が出たのは、渡邊美保子さん、中村信さん、渡辺和也さんの 3 人だった。中村信さんは本年度、開催させていただいた。渡邊美保子さんと渡辺和也さんについて、事務局で確認したところ、渡辺和也さんは燕市在住だった。この事業は三条市の文化振興事業であるので、この場で御了承いただければ渡邊美保子さんに依頼する。		
丸山委員長	この会議でお話しをいただいて、8 月に文化団体協会から推薦をしたような気がする。		
金子課長	来年度の候補者は渡邊美保子さんでよいのか。		
丸山委員長	今、事務局からの説明で渡邊美保子さんの推薦があったが、皆さん御異議はないか。		
花柳委員	どういう方なのか。		
丸山会長	渡邊美保子さんについて説明をいただきたい。		
鶴巻委員	私の方から大まかな説明をさせていただく。年齢は 50 歳を過ぎてい		

	るが、若手の方だと思う。洋画部門で、日展に何回か入選されている。個展もされていて、お住まいは下田、ヒメサユリをテーマに描いている。
丸山委員長	鶴巻委員から御説明していただいたが渡邊美保子さんでよろしいか。
鶴巻委員	私はよろしいと思う。
金子課長	皆様がよろしいということであれば、渡邊美保子さんと日程調整をさせていただきたい。例年同様、来年の3月をめどに調整させていただきたい。
石井委員	わくわく文化未来塾の講座時間で、午後9時に終わる講座がある。当市教育委員会では本格的に睡眠教育に取り組んでいる。睡眠教育では、「午後9時に寝ましょう。」という話を子どもたちや保護者にしている。来年度は難しいかもしれないが、その辺を御理解いただき是非考慮に入れていただくと、一貫性のある子育てになるのではないかと思う。
金子課長	終了時間が午後9時の講座に関しては、講師の方と相談しながら教育委員会の方針に沿うような形でこれから調整したい。
金子委員	文化・芸術の一番星育成支援事業の資料の送付で、学校長宛てで送ると、学校長で留まって教員まで届かないことがある。宛名を担当教員宛て若しくは美術部、吹奏学部、書道部など各部活動宛てにするとすぐ届くのでお願いしたい。
金子課長	ありがとうございます。子どもたちに申し込んでもらうようにPRしているので、要項などが子どもたちに届きやすい方法にしていきたい。
椛澤委員	わくわく文化未来塾の一覧で、先日、表千家でお茶の講座の話をもらったがまだ返事をしていないからここには載っていないのか。
事務局	まだ保留ということなので掲載していない。お申し込みいただければ追加する。
西村委員	手作りしかけ絵本コンクールについて、複製本は実際どれくらい利用されているか。
金子課長	<p>手作りしかけ絵本コンクールとして今回2回目で、全国に募集を行った。今年は全国から100点の応募があり、12月に審査を行った。前年度は104点で、中学生以下が十数人、今年は二十数人で中学生以下の申込みが多かった。審査後、1月に栄庁舎で展示会を行い、その後、中央公民館でも2月初めに展示会を行った。作品は応募者に返却したが、今回の最優秀賞、優秀賞に関しては、当市にまだあるので、いろいろな機会を通じて見ていただこうと思う。</p> <p>しかけ絵本については、子どもたちが本を読むきっかけにということですまいるランド隣の栄図書館にしかけ絵本を1,700冊ほど置いている。また、ものづくりの三条市ということで、このようなコンクールを開催している。最優秀作品は三条市の栄図書館で見られないしかけ絵本ということで5点複製をして、見ていただくことにしている。昨年のは栄図書館で見られるようになっており、今年度のものも現在制作中である。</p>

西村委員	皆さんの関心度はどれくらいあるのか伺いたい。
金子課長	もっと PR をして全国から応募のあった素晴らしい作品を皆さんから見ていただきたい。今回の展示会でも 4~500 人の来場者があった。それをもっと展示会だけでなくほかの機会も通じて見ていただきたい。
石井委員	しかけ絵本コンクールは、昨年度 1 回目を拝見した。素人が作れないような素晴らしい作品だと思ったが、入賞者の名前を見ると三条市の方があまりいなくて残念だった。せっかく「ものづくりの街」を謳っているのに、一般市民になかなか浸透していかない。もう 1 歩踏み出して「しかけ絵本」を作ろうという何かがあるといい。
金子課長	しかけ絵本の講習会は、なかなか開きにくい。私どもも年 1 回開くのがやっとだった。作り方など PR をして子どもたちに作ってもらう機会を増やし、三条市が「ものづくりの街」だということを PR していきたい。それから、今年の入賞者の中に三条市の方もいたと思う。
丸山会長	議題（3）について説明をお願いします。
阿部係長	（文化振興基金の活用状況について）
丸山会長	ただいま事務局から説明があったが、質問、意見をお願いしたい。
丸山会長	基金の今年度末の残高が当初の 7,280 万円から 4,980 万円になるということか。
金子課長	今年度の当初予算見込みで計算した段階で今年度末の残高は 49,823,743 円である。決算で実際の支出額が決定し、5 千万円近くが残ると思われるので、これよりは大きい数字が残ると思う。
田村委員	2 月 19 日に三条市のホームページに、「基金の状況」という中で、平成 30 年度運営見込みにおいて、平成 30 年度に崩す金額が 3,499 万円と載っていた。平成 29 年度の財源振替額とだいたい同額である。今回、残高と活用状況の結果だけが示されたが、平成 30 年度も平成 29 年度と同じ使い方を予定しているということか。
金子課長	来年度も同様の事業を予定しており、同等の額を充当することにしている。
花柳委員	寄附金のことだが、日本舞踊協会も財源がひっ迫しており、国立劇場で行う時など寄附金集めのチラシが必ず入る。1 口 1 万円からと書いてある。住所、氏名などを書き込む様式になっていて、実際寄附した方の発表を見ると、匿名希望 100 万円とか 10 万円と書いてある。 いつもいただくチラシは、ただ「寄附をお願いします。」だけで、寄附しようと思ってもしにくい。寄附しやすくなるようなチラシにしないとずっと 0 のままである。
金子課長	市民の方の寄附金によってできた基金なので、1 口幾らということではお願いに行くのは難しい。やり方やお願いの仕方に関してもう少し工夫が必要である。
田村委員	南魚沼市民会館は、施設を維持するために寄附を募っている。目的も定めず、「文化振興基金のための寄附をお願いします。」という言い方では、何に使われるのか分からない。平成 30 年度の予定の内容がわからないと寄附のしようがない。自分達でできない資金のどうやって集めるかということも含めて、今日の資料の説明は今の三条市の視点だけで考えたようにしか私には思えない。ほかの市町村はどうやっ

	<p>ているか。</p> <p>これは、りゅーとぴあのマガジンで、これだけの情報発信力を持っている。りゅーとぴあのスタッフは26人いる。それで自分たちのやりたいことを発信している。スケールが全然違うのはしょうがないにしろ、将来このような学芸員を置いて三条市の文化を引っ張っていきたいという行政のリードがあって市民が付いていく。一番星事業もそういう一環のつもりかもしれないが、先程、石井先生が言われたように「しかけ絵本」について掘り下げていくなればしかけ絵本の学芸員を置いてワークショップを開くなり、三条市民に根付かせようとする努力、ビジョンがないと今年度と同じ予算を来年度も立てて、7,000万円あったものを段々ただ眺めていくのだけ、いっぱい積もった雪が消えるのをただ見ているだけというような気持ちにどうしてもなってしまう。この雪を自分達で除雪し、その雪を利用して、更にその雪の中から新たに何かを出そうという活力のあるものが文化だと思う。</p> <p>今、平昌オリンピックをやっているが、オリンピックを開くそのイベントのためにはいろんな施設が絶対必要で、国際交流をやろうとすると、それなりの場所が必要。例えば、ここでオリンピック一部競技をやろうとするとそれなりの施設が必要である。今、新しく建てる施設は体育文化センターの建て替えである。この中央公民館もいずれ建て替える必要が出てくる。その時に、どういう建物を建てたいか、市民会館クラスのものにしたいとか、そういう発想の基に三条市の財政をどうやって積み立てをしていけばいいのか。</p> <p>これも2月19日に三条市のホームページで公開されていた資料だが、国際交流基金は1億円ある。それで平成30年度の積立見込は0円、取り崩し金額も0円。1億円という国際交流基金が1つあって、使い道も積み立ても平成30年度は予定がない。人材育成基金というものもある。1億7千万円。この人材育成基金というものが何に使われているかわからない。積立額がなくて、取り崩し額が470万円。これがどういう目的で使われているのか。公共施設整備基金というものがある。3億6千万円あっていろいろな公共施設の修理だとか補修だとかに使われている。中央公民館の建て替えのための積み立てる予定が有るのか、無いのかそれすらもわからない。</p> <p>この狭い中だけの話をしていると、もう承認せざるをえない内容でしかない。やはり文化芸術の振興を考えるこの会の委員は少なくとも5年後、10年後のビジョンを持って、公民館を建て替えるための計画の基金の積み立てはどうなっているかという話題になってほしい。</p>
西村委員	これは懇談会だが、ここでこの事業はやめた方がいいという議決はできるか。
金子課長	<p>文化振興基金については、文化ホールは平成23年当時作らないという話の中で、基金がそのままになるので、寄附された方の御意向を伺いながら市の文化振興のソフト事業のために使うということで御了承を得ている。</p> <p>平成30年度事業についても前回の会議でお話しをいただき、継続的な事業になっている。新たなものを作ったり足したりというものは無いと思うが、今回、平成30年度、31年度についても意見いただければ</p>

	と思う。
西村委員	<p>実はこの事業はしなくていいのではないかというものがある。それについての意見を述べ、しんしゃくしてもらい反映していただくことは可能か。</p> <p>前回は申し上げたが、芸術鑑賞ツアーに関しては最初 80 万円位から始まって、平成 29 年度は 150 万円位である。どうしてもお金持ちで時間のある人たちの補助金じゃないかと思う。この 150 万円を地域で活動している団体に振り分けて補助金に回せないかと昔から思っていた。是非見直しをしていただきたい。各団体汲々としてやっている。</p>
丸山会長	芸術鑑賞ツアーについて皆様はいかがか。
田村委員	平成 23 年度の第 1 回文化芸術の振興に関する懇談会の議事録に、「会館は作らない、作らない代わりに、鑑賞できないのだから鑑賞できる仕組みとして芸術鑑賞ツアーをしましょう」と何億、何十億も掛けずに日常芸術に触れるために使うということになっていた。このツアーの目的は最初の会館は作らないことを前提にその代りに鑑賞していただくという話になっている。それこそ本末転倒である。
金子課長	当初、平成 23 年の時に文化会館、箱物は作らずに一流の芸術を見に行くために、県外、県内で行われるコンサートや芸術の発表機会の交通費分を支援している。鑑賞部分や昼食は御自分の負担で、交通費分を芸術鑑賞ツアーで負担している。その趣旨で続けていきたいと思う。ただ、ほかの芸術文化振興事業、芸術鑑賞ツアーについても意見を頂ければ今後検討したい、ただ平成 30 年度については、もう予定があるので、平成 31 年度に向けて意見を頂ければと思う。
丸山会長	参加者はいつも定員に達しているのか。
金子課長	参加者については往復はがきでお申し込みをいただく。お申し込みをいただいた中から、過去 1、2 年間の参加者には御遠慮いただき、初参加の方から抽選で選ぶことにしている。募集定員が少ない場合は、初参加の方以外も含めて抽選を行っている。なるべく初参加の方を優先にしているが、申し込みが少ない場合は何回も行く人が出てくる。
椛澤委員	この事業の参加者の年代はどれくらいか。平日に行われているのか。
金子課長	開催する事業によっては、チケット確保の関係で休日は難しいので、平日が多い。ただ土日にチケットが取れることもある。夏休み等に親子で行けるツアーも計画している。
椛澤委員	平日、勤めている人はなかなか行けない。定年になったような人が行くのか。行った人の話を聞くと「すごく良かった」と言っている。低料金で行けるとい話を聞いている。平日に勤めている人は、なかなか申し込みができなくて不利だと思う。
金子課長	チケットの関係もあるが、休日ツアーも検討していきたい。
花柳委員	行った方が三条の芸術振興に生かしてくれていればいい。そういう人たちが行っているのか。
丸山会長	このツアーのアンケートを取られていると思う。そこから見えてくるものはないか。
金子課長	現地まで一人ではなかなか行けない人が、現地まで連れていっても

	<p>らえるということで好評をいただいている。アンケートの意見を内容に反映していきたい。また、なるべく初めての方に参加していただけるようにしていきたい。</p>
丸山会長	<p>いろいろな意見があったので、見直していただきたい。</p>
金子課長	<p>今後も平成 31 年度の事業についての有効な基金の使い方について意見をいただきたいと思う。若手芸術家支援事業についても、意見をいただいている候補者の発表が終わるので今後の継続の有無などについて議論を深めていただきたい。</p>
丸山会長	<p>(4) その他について何かあれば伺いたい。</p>
金子課長	<p>今まで基金の使い方、利用についてお話があったが、次回は、平成 31 年度以降の基金を使った文化振興事業について、審議をしていただきたい。平成 31 年度にはスポーツ・文化・交流複合施設が完成する。それも見据えた中でお話しをいただきたい。</p>
丸山会長	<p>ほかに意見等が無いようであれば、これにて終了する。</p>